



2022 年 9 月 1 日

《トイレで考える SDGs》紙のクローズドリサイクルの取組みについて

株式会社百五銀行（頭取 杉浦 雅和）は、SDGs 取組みの一環として、紙のクローズドリサイクルにより生産されたトイレトペーパーを営業店で使用することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

具体的には当行の保存期間が過ぎた書類（紙ごみ）をトイレトペーパーに再生し、当行内で使用するもので、金融界においては先駆的な取組みです。また、当行特例子会社の百五管理サービス*が文書保存の管理から製品化された本トイレトペーパーの保管、管理、発送手配までを担うことで、障がい者雇用を通じた持続可能な循環型社会の実現に貢献します。

当行は今後もグループ会社と一体となって積極的に環境負荷の軽減に努め、環境保全への取組みを進めてまいります。

記

- 1 利用開始日
2022 年 9 月 1 日（木）
- 2 導入拠点
三重県・愛知県・和歌山県内の営業店 約 100 拠点
- 3 CO₂ 排出量削減効果
年間約 54t-CO₂（森林伐採抑制量では 724 本に相当します）
※ 2022 年度の対象古紙実績値にもとづきます。
- 4 紙のクローズドリサイクルについて
当行の保存期限が過ぎた書類をリサイクル業者（株式会社宮崎）にて破碎処理した後、大王製紙株式会社経由で同社子会社エリエールペーパー株式会社にてトイレトペーパーとして再生され当行に還流されます。
このクローズドリサイクルを行うことで、二酸化炭素排出抑制・森林伐採抑制に貢献します。

* 百五管理サービス

2016 年 2 月に東海 3 県の地方銀行で初めて特例子会社の認定を受け、現在では 28 名（知的 21 名、精神 6 名、身体 1 名）の障がいのある社員が働いています（2022 年 8 月 1 日現在）。主な業務は、百五銀行グループの印刷、製本、文書・用度品管理などの事務を受託しています。

以上

【クローズドリサイクルスキーム図】

